

支援する会ニュース

2022. 1. 20 NO. 65

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支部
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野 1-12-6 3階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

時間はサンケン電気の味方ではない！！

1月13日、第64回木曜行動がのべ90人の参加で取り组まれました。韓国では零下10度の厳寒のなかで550日目のテント籠城の闘いが行われました。この日は、韓国・旭非正規職労組支援の行動が丸の内の旭硝子本社に向けて取り组まれ、支援する会からも3人参加しました。年末に保釈を勝ち取った尾澤さんは、支援をしてくださった組合などへの挨拶廻りに忙しい日々。コロナ禍ではありますが、1・25集会が近づいています。この成功を闘い取ろう。

〔本社正門前〕



本社前をゆいの会の似顔絵パネルが埋めました。支援する会の仲間の発言で行動開始。韓国からキムウニョンさんが韓国ゲイツやホームプラス労組の闘いを紹介しながら、

「私たちのサンケン電気に対する25年間の闘いも、必ず勝利する。この闘いは労働者の権利、生存権を守る闘いであり、日韓の労働者連帯闘争で闘われている。サンケン電気が非道徳的な企業、労働者とその家族の権利を踏みにじる企業であること、民族差別をする企業であることを私たちは知っている。必ず最後まで闘い勝利する」と訴えました。キムヒョンガンさんも「サンケン電気に様々な批判が寄せられているが、まったく耳を傾けない。周辺住民にも迷惑をかけている。二度とこのような事態を起こさないという約束を住民にもしている。しかし、再び同じことをしている。約束を一つも守らない」と批判。埼玉市民の会、HOWSの仲間のアピールがあり、シュプレヒコールで行動終了。

前回行動に引き続き、公安と思しき人物が数名行動を監視。尾澤さんに出された保釈条件が守られているか偵察にきたと思われます。尾澤さんに完全な自由と無罪を！

〔志木駅南口前〕



埼玉市民の会の仲間のアピールで行動開始。韓国からペクウンジュさんが「私たちのテントの前にある工場は他の企業の工場になった。門前には『韓国サンケンが廃業した』という張り紙があり、別の会社名が付いている。…最近では10人前後の社員が毎日出入りし2

階で機械の動く様子もある。私たちは外部の人間ということで中に入ることはできない。簡単に解決できないことも確認している。しかし必ず現場に復帰するという気持ちは変わっていない」と闘いの決意を語りました。韓国からはキムウニョンさんもアピールしました。日韓ネットの仲間が、韓国労働運動の現状と強さについて報告し、参加者も納得の様子でした。ノレの会とゆいの会、さらにサンケン太郎さんが歌を披露してくれました。この日はなんと4曲も。朝から3人参加してくれた群馬合同労組の仲間、最後に明大生協労組の仲間のアピールがあって行動終了。

〔池袋・東京営業所前〕

埼玉市民の会の発言で行動開始。日本からは渡辺共同代表、全労働者組合、女闘労倶楽部、尾澤邦子さんがリレートーク。韓国



からはオヘジン支会長が「なぜ政府機関も無視し続けているのか。正しいと言うなら堂々と出てくるべきだ。忤しいことがあるのか、一向に姿を見せない。立派な理念を掲げるグローバル企業として批判され、まともな企業として認められないことを自覚すべきだ」と労働部の文書に返答するよう発言。キムヒョンガンさんも「韓国では話し合いを一切行わない。これはまぎれもなく民族差別であり、人種差別だ。自分たちでは労組を尊重すると言いながら話し合いを拒否するのは理解できない。高橋社長は自らが決めた会社のCSRを守らない」と批判。この日、豊島区職員が近隣住民から苦情があったと様子を見に来ました。

※「逃げるな、出てこい！サンケン電気1・25集会」

2022年1月25日(火) 18時半～

IKE・Biz としま産業振興プラザ・多目的ホール